

調 査 票

（回答機関：業務グループ）

終了年度	実施機関	試験研究課題名
平成14年度	衛生研究所	マイクロウェーブ分解法(MW)と誘導プラズマ質量分析法(ICP-MS)による食品中の金属の迅速一斉分析法の検討
試験研究の目的・内容・結果		
<p>食品などを少量の酸で迅速分解できる MW 分解法及び高感度で迅速に一斉分析可能な ICP-MS 分析計を用い、食品中の金属成分の迅速一斉分析法を検討し、食品衛生対策及び健康危機発生時の検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。</p> <p>検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。</p> <p style="text-align: center;">福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75～80</p>		
利活用の状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品検査において金属成分分析に活用 ・ 食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・ 15～16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 		
利活用にあたっての問題点		
<p>（利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する）</p>		
利活用を促進する提案		
<p>（上記問題点を解決する提案を記入する）</p>		
外部評価アドバイザーのコメント		
<p>本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、状況分析が充分でない感がある。</p>		